

○射水市議会議員政治倫理条例

平成27年3月17日

条例第35号

射水市議会が目指す「市民に開かれた議会づくり」を進めるためには、その基盤として議員と市民との信頼関係が必要である。

そのためには、議員が市民の代表であることを自覚し、議決権を行使する責任を深く認識するとともに、高い倫理観を持ち、自らを律しながら誇りと使命感を持って公明正大な市勢の発展に寄与するよう努めなければならない。

ここに、議員と市民との信頼関係の確立を期し、この条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、射水市議会議員(以下「議員」という。)の政治倫理に関する基本となる事項を定めることにより、議員が、市民全体の奉仕者として政治倫理のより一層の向上に努めるとともに、市民に信頼される議会づくりを進め、もって市勢の健全な発展に寄与することを目的とする。

(議員の責務)

第2条 議員は、市民の信託を受けた全体の奉仕者として、市政に携わる権能と責務を深く自覚し、地方自治の本旨に従って、その使命の達成に努めなければならない。

(市民の責務)

第3条 市民は、主権者として自らも市政を担い、公共の利益を実現する責任を負うことについて自覚を持つとともに、自己の利益又は第三者の利益若しくは不利益を図る目的をもって、議員に対して、その権限又は地位による影響力を不正に行使させるような働きかけを行ってはならない。

(政治倫理基準)

第4条 議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

- (1) 全体の代表者として、法令を遵守し、品位及び名誉を損なう一切の行為を慎み、不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。
 - (2) 市民全体の奉仕者として、常に人格と倫理の向上に努め、その地位を利用していかなる金品の授受もしないこと。
 - (3) 市又は市が資本金、基本金その他これらに準じるものを出資している法人若しくは市の施設の指定管理者が行う許可又は請負その他の契約等に関し、特定の者のために有利な取扱い又は不利な取扱いをするよう働き掛けをしないこと。
 - (4) 本市職員の公正な職務執行を妨げ、又はその権限若しくは地位による影響力を不正に使用するよう働き掛けをしないこと。
 - (5) 職員の採用、異動、昇任その他の人事に関与しないこと。
 - (6) 地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第92条の2に規定する趣旨を尊重し、他人名義による請負又は物品納入契約をするなどの兼業行為をしないこと。
- 2 議員は、前項各号に規定する政治倫理基準に反する事実があるとの疑惑を持たれたときは、その疑惑を解明し、責任を明らかにするよう努めなければならない。

(市民の審査請求権)

第5条 市民は、議員が前条第1項各号に規定する政治倫理基準に反する疑いがあると認めるときは、法第18条に定める選挙権を有する者の50分の1以上の連署にこれを証する資料を添えて、議長に審査を請求することができる。

- 2 議長は、前項の規定により審査の請求がなされたときは、射水市長等政治倫理条例(平成27年射水市条例第34号。以下「市長等条例」という。)第5条の規定に基づき設置する射水市政治倫理審査会(以下「審査会」という。)による審査を求めるため、審査請求書(添付資料を含む。)の写しを遅滞なく市長に送付しなければならない。

(議員の協力義務)

第6条 議員は、審査会から審査に必要な資料の提出又は会議への出席請求があった場合は、その請求に従わなければならない。

(弁明)

第7条 議員は、審査会において口頭又は文書により弁明することを請求できる。

- 2 議員は、市長等条例第9条第1項に規定する審査結果について文書により弁明することができ
る。

(審査結果報告書の公表等)

第8条 議長は、市長等条例第9条第3項の規定により市長から審査結果報告書の写しの送付を受
けたときは、その写しを審査請求者に送付するとともに、公表するものとする。

- 2 議長は、前条第2項の規定により弁明があった場合は、前項の規定による審査結果報告書の公
表に当たり、その弁明の全部又は要旨を併せて公表するものとする。

(審査会の報告に対する議会の措置)

第9条 議会は、議員に関する審査会の審査結果において政治倫理基準に反するとの報告がなさ
れ、当該審査報告が妥当であると認めたときは、政治倫理確保のために必要と認められる措置
を講じなければならない。

(その他)

第10条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(小杉町議員政治倫理条例の廃止)

- 2 小杉町議員政治倫理条例(平成14年小杉町条例第28号)は、廃止する。